

寸 鐵

○過ぎたるはなほ及ばざるが如しどころか、三倍とられる。
○暖冬で日光教は時候狂ではないから知らん。

○電壓は低いが物價は高い。
○Off Limits. 制限を離れるから無制限かと思へば立入禁止だと言ふ。

○つまらない方がよいのは煙管と煙突だけ。
○山を二つ重ねて「出」となつても川を重ねて「入」とはならぬ。

○電車が停ると押すな押すなと押し立てる。

○比叡山ではなく「冷えー山」だ。

○暗いヤミはいけないが、暗い程よいのは映畫館だ。

○すもももももももの中。

○雲と蜘蛛とは雲泥の差。

○つれづれ草といつても秋の七草ぢやない。

○ダイヤは高價で買手はあるが、電車のダイヤは見てもない。

○天の川が甘の川ならば雨は飴だらう。

○唯で体内に入つて無制限なのは空氣。

○遮斷機は通るたんびにしめてる。

○『ゲタハキモノ』『下駄は着物』かと思つたら「下駄履物」だト。漢字制限のなやみ。

○京極ではこの寒中にアイスクリームを賣つてこれに愛すクリームだらう。

○和歌山縣とて歌よみの國ぢやない。

○落ほど喜ばれるのは石鹼だ。

○電車導員、「氣が付けば財布なくなり大慌て」

○市長、船長、町長。四、五、千、兆の順だが、本物の高低はどうなるか知らん？

○古着屋や買はずとび込め下駄の音。

○寒月の 梅二輪三輪 風蕭々。(辻田克己)

○「進駐軍の命に依り車外乗車は云々」と之れ見よがしに揭示されてあるが「止むに止まれず自分の意思でやつてるんだ、進駐軍の命令で車外乗車やつてるんぢやない」と言つたら市電の車掌さん何と答へるか知らん？

○最近の中等學生の中には「萬物は流る」ベルグソンの定理を應用實驗する學究的な學徒が増えつゝある——とは一六銀行頭取並びに「賣る氣で買ふ店」の亭主連の言である。此の現象が喜ぶべきか否かと言ふ事は校友諸君の推測に難くない。

○桃色雜誌の發刊停止は學生、生徒へコーヒをより多く飲ませる爲の警視廳の非常措置となるのは眞に憂ふべき事であらう。(T・N生)

○表紙の題字『清和』は羽栗部長先生の御筆によるもので、本校の前身故西園寺公の創立にかゝる「清和中學校」の名稱よりとつたものである。又吾人は聖德太子のつくられた「十七條の憲法」に「和をもつて尊しと爲す」とある如く、本學園内にも清らかなる和を打ち樹てたいのである。

(山本弘之)

編 輯 後 記

校内新聞の發刊は余程以前から羽栗先生其の他文藝部の先生等に企畫されてゐた。しかも第一號は計畫と發表が余りに急で其の上休日を含んだ爲、印刷にも寫眞・カット等もなく、紙面に活氣が満ちてゐないと感じられる事と思ひ申す。第二號からはドン／＼校友諸君からの原稿が編輯室の机上に山積する様になつて貰ひたいと願つてゐます。次號からは父兄欄、讀者欄、映畫欄を設置したいと思つてゐます。諸君の父兄の方の中にも立中生に對する希望や先生方に對する希望等を持つて居られる方が多勢居られることと思ひますから父兄の方々の投書を歓迎します。讀者欄へは前號に對する反駁、批判等を載せる積りですが、先生の書かれた事であらうと間違つてゐる、自分の方が正しいと信ずる人は忌憚なく堂々と書いて下さい。匿名の投書に就ては當方としても責任を負ひますし堅く守ります。映畫の觀賞方面に自信のある人は感想や演技の批評を映畫欄に投書して下さい。

昭和二十二年二月一日印刷
昭和二十二年二月一日發行

立一四年

編輯人 山本弘之
同 則松部人
同 大村茂雄
印刷所 大津市上京町一六
印刷所 原田印刷所
印刷所 大津市上京町一六
印刷所 原田印刷所
印刷人 原田正一郎